

各位

山形市野草園 : 山形市大字神尾 832-3 電話 023-634-4120

山形市野草園からのお知らせ



「ロックガーデン」の東斜面に咲き誇るヤマユリ（今年7/25に撮影）

ヤマユリ（ユリ科）

ヤマユリは、本州中部から北の山地に生える日本特産の多年草です。茎の高さは1～1.5mで直立していますが、花径が20cmもある大形の花を茎の上に数個つけるので、その重みによって少し倒れるものが多いようです。6枚の花被片は白く、真ん中に黄色い筋が入り赤褐色のたくさんの斑点があります。雄しべの葯は赤くて目立ちます。花は強い芳香もあり、鱗茎は黄白色の扁球形で、食用にもなります。豪華な花姿と濃厚な芳香から「ユリの王様」と呼ばれます。

山野草ならではの美しさを感じる花たちが見られる、今。

7月14日に熊侵入の形跡が見つかった事により、2週間の臨時休園としていましたが、安全点検と侵入防止の安全対策を施し、28日(金)から再開園しています。野草園は今、表記写真のヤマユリを始めヤブカンゾウやクルマユリなど、野草園の魅力である“花たち”が独特の美しさを見せています。他にも魅力あふれる花たちが皆さんのお越しを心待ちにしています。街は大変な暑さが続きますが、ここ野草園は平均で3度ほど涼しい気候です。13号線バイパスからは車で10分ほどで園に到着します。ぜひ森林浴をかねて、心の疲れを癒しにご来園下さい。

★★ 8月の開園時間変更のお知らせ ★★

通常の開園時間 … 9:00～18:00
→変更後の開園時間 … 9:00～16:30

8月の予定

◆「木工工作教室」

- 日 時 8/6(日) 10時～12時
- 場 所 自然学習センター ピロティ付近
- 内 容 夏休み期間中の子ども達を対象として、自然の材料を利用した工作指導を実施。
材料は園内で集めた木の枝など。 ○参加費 無料(入園料別)
- 募集人数 小学生親子先着20組。 申込みは野草園まで 電話: 634-4120

◆「センニチコウの花苗プレゼント」

- 日 時 8/11(金) 《山の日》 9時～無くなり次第終了。
- 場 所 本園入口料金所裏
- 対 象 入園者先着100名。

◆【草木染め教室】

- 日 時 8/11(金) 13時～15時 ○場 所 自然学習センター ピロティ
- 内 容 園内の草木を使って、ハンカチの染色実験をします。
- 参加費 材料費 1組500円(入園料別) ○持ち物 汚れてもいい服装
- 対 象 小学生親子先着10組。 申込みは野草園まで: TEL 634-4120

◆『山野草の育て方教室』

- 日 時 8/29(火) 10時～12時 講師: 蔵王園芸店 佐藤 祐一 氏
- 場 所 自然学習センターのピロティ
- 内 容 “イワシャジン”と“サギソウ”の鉢植え
- 対 象 一般先着13名 ○参加費 材料代として2000円 (入園料別)
- 申込み 電話で野草園まで 電話 634-4120

◆『工作コーナー』

- 日 時 7/28(金)～8/20(日) 10時～16時 連日開設しています。
- 場 所 自然学習センターピロティ付近
- 内 容 野草園の木の枝など自然の材料や道具を使って自由に木工工作できるコーナーを設置。
- 費 用 無料(大人は入園料別、高校生まで入園無料)。

◆◆◆「ガイドウォーキング」◆◆◆

- 日 時 8/6(日)、11(金)、13(日)、20(日)、27(日)
①10:00～11:00 ②11:00～12:00 ③13:00～14:00 ④14:00～15:00
- 内 容 ボランティアガイドと一緒に野草園内を散策します。申し込み不要で参加できます。もちろん無料です。今まで知らなかったかわいい花、不思議な花を見つけてみませんか。

★★★ 8月初旬・中旬に見られる花 ★★★



ヤブカンゾウ (ススキノキ科)

野原などに多い多年生草本です。葉は広線形、鮮緑色で先は下垂しています。若葉はおいしい山菜のひとつです。葉の間から花茎をだして上部に黄赤色の花を数個つけます。雄しべ雌しべは花びらのようになり、八重咲きになるので、果実はできません。根茎から横につるをだして繁殖します。名は藪など、人の集落近くに生えるためです。



コオニユリ (ユリ科)

日当たりのよい湿り気のある山地に生える多年草です。葉は線状披針形で、葉のわきにオニユリのようにむかごはつきません。茎の先端に黄赤色の花をつけます。花の数はオニユリよりも少なく、形も少し小さいようです。花弁は6枚あり、上部はそり返り内側には紫黒色の小点がまばらにあります。名はオニユリよりも小さいためです。



ユウガギク (キク科)

湿地やあぜに多い多年草。高さ 1~1.5m。下部の葉は長楕円状披針形。先端はとがり、基部はしだいに狭くなり、ふちには欠刻状の大きな鋸歯があります。上部の葉は線状披針形。頭花は径 3~3.5cm の淡青紫色。冠毛は 1mm 以上で長短があります。似たヨメナは冠毛が 0.5mm と短く、ノコンギクは 4~6mm あり、全体に毛が多いようです。



ヒオウギ (アヤメ科)

山地の原野に生える多年草です。観賞用としても栽培されています。葉は広い剣状で扇形に並び、多少白っぽいようです。夏に茎が何度も枝分かかれし、枝の端に有柄の花をつけます。花被片は 6 個で水平に開き、楕円状でへら形、黄赤色で内側に濃い暗紅点が多数あります。名は、葉の並び方が桧扇に似ているのでつけられました。



ビロードトラノオ (オオバコ科) ←ゴマノハグサ科

茎の先の長い穂に多数の花をつけます。葉の両面にビロードのような軟毛が生えています。名は花穂の様子が虎の尾に似ているからです。野草園内にはトラノオの名前がついている植物は、オカトラノオ(サクラソウ科)、ヌマトラノオ(サクラソウ科)、トラノオ(別名クガイソウ、ゴマノハグサ科)があります。



クサボタン (キンポウゲ科)

本州の温帯に分布し、茎の下部は木化していて直立します。茎の先端に散房花序を形成しますが、キンポウゲなので花弁はなく、花筒を形成しているのは淡紫色の萼です。4 片の萼は開花時には反り返ってカールするのが特徴です。近寄ってみると美しい花ですがあまり目立ちません。



クサキョウチクトウ (ハナシノブ科)

北アメリカ原産の多年草で、庭に植えられています。葉は対生時には 3 枚輪生し披針形です。葉柄はごく短く、上の方ではいくぶん茎を抱くようになります。茎頂に紅紫色の花をつけます。花は下部が細い筒となり、上部は 5 裂して平らに開き、回旋してひだ状に重なります。名は花がキョウチクトウに似て草であるからです。



ベニバナ (キク科)

エジプト原産といわれる1年草です。葉は互生して広披針形で先はとがり、基部は円形でやや茎を抱き、ふちには鋸齒があって、先にとげがあります。枝の先に鮮黄色の花を開きます。時がたつと黄色い花は赤色に変わります。名は赤い花、または紅(べに)をとる花の意味です。山形市の花として昭和49年に制定されました。



リョウブ (リョウブ科)

山林の中に生える落葉の小高木で、樹皮は薄片となつてはがれ、あとは茶褐色でなめらかです。葉は枝先に集まって互生し広い倒披針形です。枝先に小さな白い花を密につけます。木肌はきれいなので、薄片をつけたまま床柱として使われるそうです。昔、若い葉を保存しておき、救荒食物としても使われたそうです。



キキョウ (キキョウ科)

日当たりのよい山地や野原などに生える多年草で、観賞用にも多く栽培され、八重咲きや白花などの園芸品種も多いようです。根は太く黄白色をしており薬用とされています。葉は長卵形で先は尖り、ふちには鋸齒があります。茎の上部に青紫色の鐘形5裂の花を開きます。秋の七草でいうアサガオはキキョウのことだといわれています。



カワラナデシコ (ナデシコ科)

各地の山野に自生する多年生草本です。葉は対生し、線形または披針形で基部は茎をすこし抱きます。花茎の先に咲く淡紅紫色の花は優美です。秋の七草のひとつに数えられていますが、7月には咲き始めます。名の撫子は可憐な花の様子に基づき、河原に生えるからです。別名大和撫子は姉妹品の唐撫子に対していったものです。



レンゲショウマ (キンポウゲ科)

本州の主として太平洋側の深山に生える多年草で、日本特産のひとつです。葉は大形で2~4回3出複葉で、小葉は卵形です。茎の上部に淡紫色の花をまばらに下向きにつけます。萼片は多数で楕円形をしており、花弁も多数で倒卵状長楕円形をしています。花がハスの花に、葉がサラシナショウマに似ていることからついた名ようです。



フシグロセンノウ (ナデシコ科)

山地や林中に生育する多年草。オレンジ色で径5cm程の5弁花を平らに開きます。節の部分が茶色っぽい紫黒色なので「節黒」、「仙翁」は京都の嵯峨仙翁寺というところが作出したところから命名。萼は筒状で、先が5つに裂けます。葉は卵形で、向かい合って生えます(対生)。葉の先は尖り、縁には毛が生えています。



オミナエシ (スイカズラ科)

日当たりのよい山野に生える多年草です。葉は対生し羽状に分裂し裂片は狭くまた尖ります。茎は上部で枝分かれし、黄色の小さい花を多数つけます。果実は長楕円形でまわりは翼状にはなっていません。秋の七草として有名な植物です。花が満開になるとその独特なおいで、オミナエシが咲いていることがわかります。



クルマユリ (ユリ科)

本州中部以北の亜高山帯の草原などに生える多年草です。葉は茎の中央部付近に6~15枚が輪生し、その上部に3~4枚がまばらにつきます。茎の先に長い柄を分枝して、黄赤色の花をつけて下を向いています。花びらはせまい披針形で広く基部から開いてそり返ります。名は車百合で、葉が放射状についた点を車輪にたとえたようです。



サワギキョウ (キキョウ科)

日本各地に分布し、山間の湿地に群生します。茎は高さ50~100cm、太く中空で分枝はしません。全体に無毛で葉の長さは4~7cm。花は、上下の2唇に分かれています。上唇は二裂し横に張り出し、鳥の翼のように見えています。下唇は3裂し前に突きでています。鳥の頭のように見えるのは雄しべです。